

第 85 回 科学技術部会	資料 5
平成 26 年 7 月 18 日	

認知症予防のための戦略研究に関する研究実施計画の評価について

【課題名】高齢者の認知機能低下に関わる諸因子観察と予防介入による抑制効果の 検討

本研究は、高齢者の認知機能低下、認知症発症に関する諸因子の観察と認知症発症予防の運動習慣獲得プログラムの有効性を検証するための比較試験を目的とした戦略研究の実施計画書を作成することを目的に行われた。

戦略研究としての実現可能性は、平成 26 年 6 月 27 日に開催した「第 40 回戦略研究企画・調査専門検討会」で、平成 25 年度研究事業の成果である研究実施計画書及び計画を実施する上でのマニュアル等を踏まえて検討された。

委員からは、「運動介入プログラムやそれに基づくマニュアルが示される等、成果は認められる」とする意見があった。

一方で、「介入方法としての運動プログラムの有効性の客観的な評価方法等についてさらに検討が必要ではないか」という意見や「研究計画は洗練されたものの、現段階では本研究を実施するにあたり、学会等をあげて総力的に取り組んでいけるような計画になっていない」という意見もあった。

また、「今後、戦略研究とは別の研究事業でエビデンスの構築を行うことなど、研究を進めていくことも検討してもよいのではないか」という意見もあった。

これらの意見を踏まえ、戦略研究企画・調査専門検討会においては、本計画書による戦略研究の実現可能性は低いと判断された。しかしながら、認知症の予防に関する研究に関しては今後も進めていく必要があるとされた。